



M4 キングス 取扱説明書

基本操作（ひろげ方、折りたたみ方等）



固定バンド

車いすのひろげ方

① フレーム前方にある、固定バンドをはずします。

② 左右のシートパイプが、シートクリップにしっかりはまるまで押し下げます。
※ シートクリップに手をはさまないように気をつけてください。

③ フットサポートをはめます。

④ バックサポートのスタビライザーを取り付けます
スタビライザーのフック状の端を、グリップ後端のボルトに下側からかけ、ノブを手で締めてください。
外す際は、フック側のノブを緩めれば、外すことができます。

スタビライザーは、フレームの強度を高める為のものです。車いすを持ち上げる時などに、ハンドルとして使用することは絶対にしないで下さい。

⑤ 折りたたむときは、①～④を逆の手順で行います。
座面シートの真ん中を上方に引き上げると、シートパイプをシートクリップよりはずすことができます。



基本操作（アームサポート）



アームサポート

- ① サイドパネル外側の介助レバー（矢印）を前方に倒すと、ロックが外れ、アームサポートを後方にはねあげることができます。



- ② アームサポートは、約 45° 跳ね上げた状態で、後上方に引き上げると、取り外しも可能です。



- ③ アームサポートは、元に戻すと自動的にロックがかかります。

※ ご使用の前に、ロックがかかっていることを必ず確認してください。

※ 車いすを持ち上げる際に、アームサポートを持たないでください。不意に外れ、事故の原因となることがあります。

基本操作（フットサポート）



スウィングアウト



スウィングイン



フットサポート操作

① フットサポート外側の介助レバー（矢印）を手前に引きます。フットサポートのロックが外れ、スウィングアウト、スウィングイン、取り外しが可能です。

② スウィングアウト

③ スウィングイン

④ 取外し。再度取り付ける際は、フットサポートがスウィングアウトした状態で、フレームに差し込んでください。

⑤ フットサポートを元の位置に戻すと、自動的にロックがかかります。

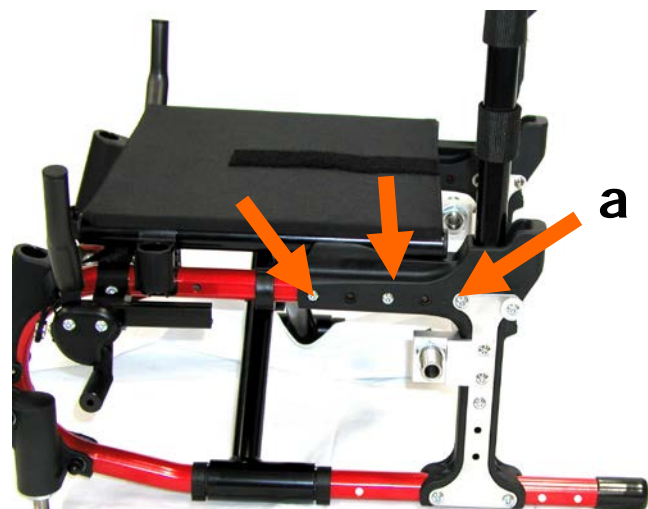
※ ご使用の前に、ロックがかかっていることを、必ず確認してください。

※ 車いすを持ち上げる際に、フットサポートを持たないでください。不意に外れ、事故の原因となることがあります。

座奥行調整

使用工具 六角レンチ（4mm、5mm）、スパナ（10mm）

フレームに取り付けられたセントラルユニットの位置を前後にスライドし、座奥行きを変更することができます。



A: ショート



B: ミディアム



C: ロング



セントラルユニット

- ① セントラルユニットとフレームを固定している 5 本のボルト（矢印）を 4mm または 5mm の六角レンチで緩め、抜き取ります。
※ 裏側のナットは金具で固定されていますが、必要に応じて、10mm のスパナを使用してください。
※ 座奥行が最短時以外は、ボルト a 以外の 4 本を緩めてください。
- ② フレーム上で、セントラルユニットをスライドさせます。
- ③ フレームの穴と、セントラルユニットの穴を合わせ、再びボルトを差込み、再度締めなおします。

締付トルクは **6Nm** です。

M6	A: ショート	⇒座奥行 31cm
	B: ミディアム	⇒座奥行 34cm
	C: ロング	⇒座奥行 37cm
M2, M3	A: ショート	⇒座奥行 34cm
	B: ミディアム	⇒座奥行 37cm
	C: ロング	⇒座奥行 40cm

- ④ 座奥行きを伸ばすと、バックサポートと座面シート間にスペースができます。バックサポートカバーの下端は、ベルクロテープで座面シートに付けられるようになっており、スペースを埋めることができます。

フットサポート調整

使用工具 六角レンチ（4mm）



2 枚式フットサポートの場合

- ① フットサポート裏側のボルトを、4mm の六角レンチで緩めます。
- ② フットサポートの高さを無段階で調整することができます。
- ③ 調整が終了したら、再度ボルトを締めなおしてください。

締付トルクは **6Nm** です。

過度に締め付けると、
樹脂パーツが破損する恐れがあります。

※フットサポートの縦パイプの差込量が、
40mm 以上となるようにしてください。

前座高調整

使用工具 六角レンチ（4mm×2 本）



キャスターフォークには、4箇所を取付穴があり、キャスターの上下位置を変更することで、前座高の調整ができます。

キャスターは4mmのボルトでフォーク両側から固定されています。4mmの六角レンチ2本を使用し、固定ボルトを緩めてください。キャスターを希望の位置に設定し、ボルトを締め直してください。

キャスター上部のスペーサーの位置を変更することで、前座高を調整することができます。

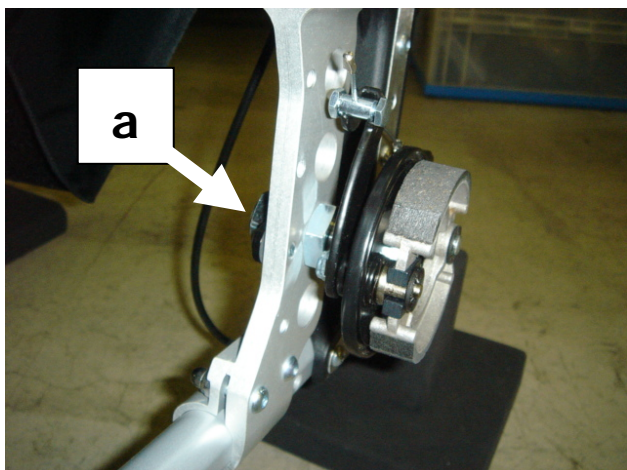
※19mmのボックスレンチが2本必要です。

キャスターフォークを外し、スペーサーを、キャスターハウジングの中に移動することで、前座高を2cm低くすることができます。

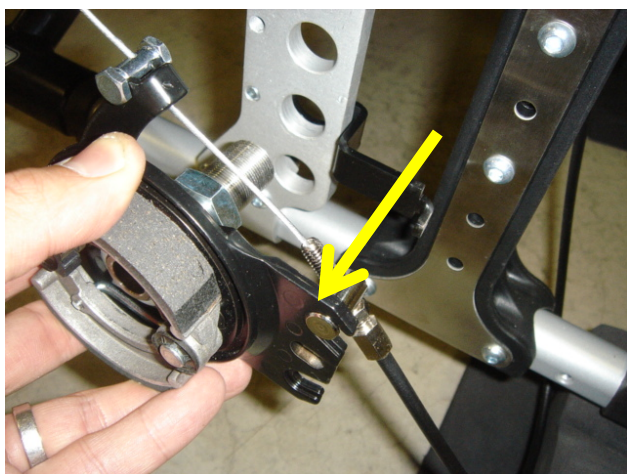


後座高調整(ドラムブレーキの場合)

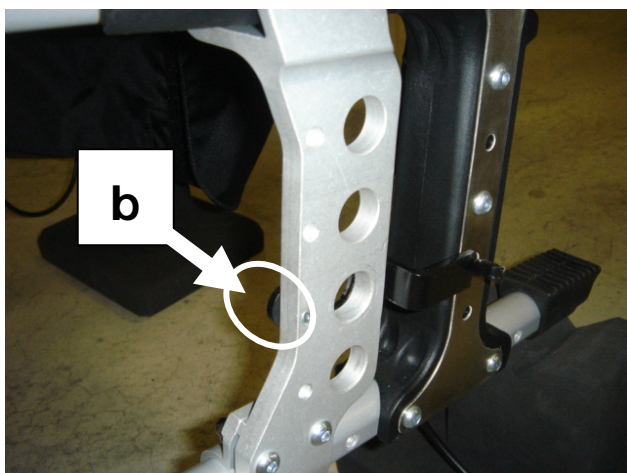
使用工具 六角レンチ (4mm)、スパナ (10mm、24mm)



- ① 車軸を固定している 24mm ナット(a)を緩め、取外します。
※車軸プレートの裏側のナットです。



- ② ドラムブレーキユニットを取り外します。



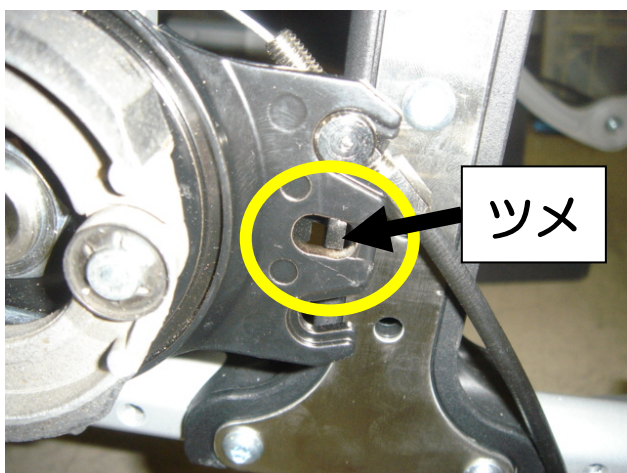
- ③ 4mm 六角レンチでボルト b を外し、ドラムブレーキユニットの回転止めを車軸プレートから取り外します。

- ④ 回転止めを、希望の高さにセットし、再度ボルト b で固定します。

- ⑤ ドラムブレーキユニットを再度取り付けます。この際、ユニットに空いている穴と、回転止めのツメがはまるようにセットしてください。

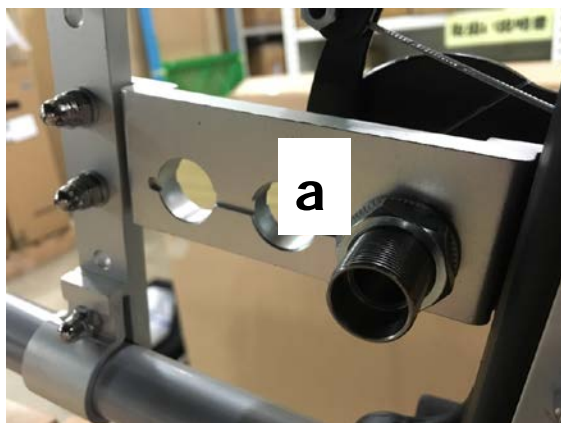
- ⑥ 再度、ナット a でドラムブレーキユニットを固定します。

締付トルクは **50Nm** です。

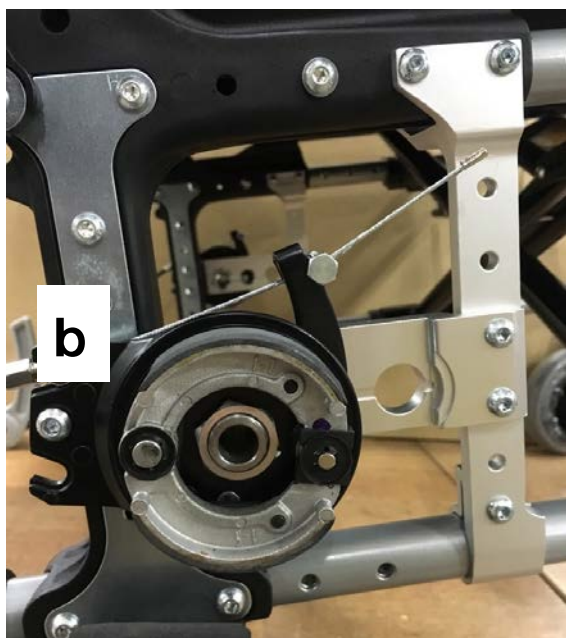


M4車軸位置調整（車軸プレート 横方向タイプ）

使用工具 スパナ（24mm, 10mm） 六角レンチ（5mm, 4mm）



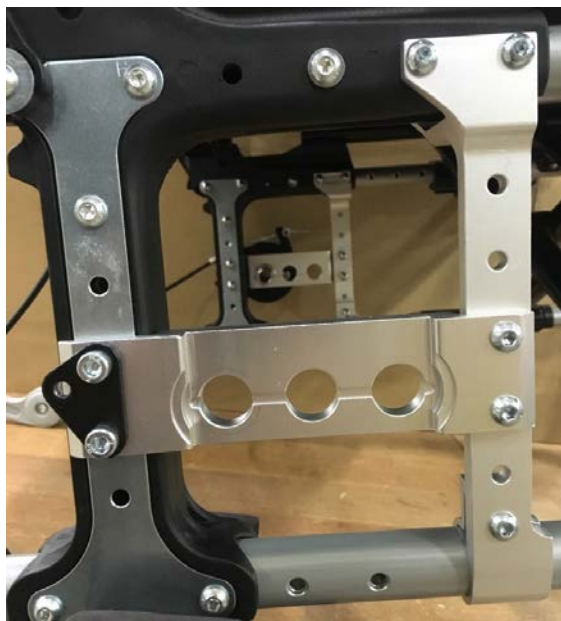
- ① 車軸を固定している 24mm ナット(a)を緩め、取外します。



- ② 4mm の六角レンチで、ドラムブレーキユニットの固定ボルト(b)を緩め、ボルトとスペーサー(c)を取外します。



- ③ ドラムブレーキユニットを取り外します。
※この際、ドラムブレーキユニットに残っている 24mm ナットの位置を動かさないようにします。



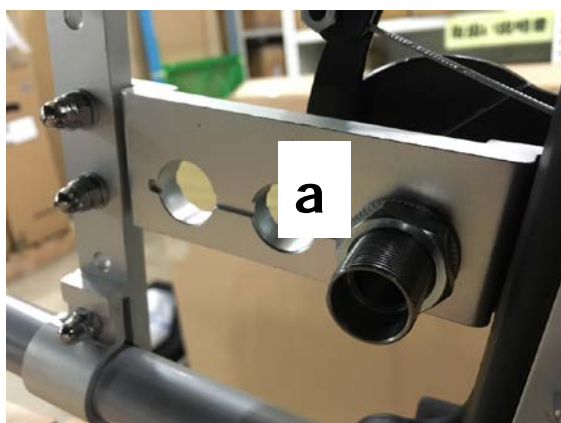
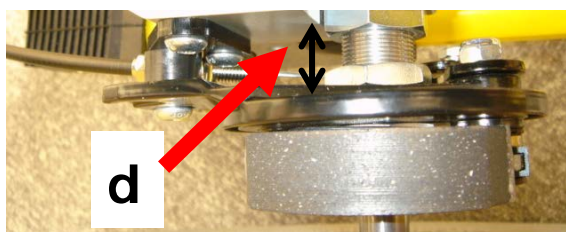
- ④ ドラムブレーキユニットを取り外すと、車軸プレートを固定しているボルト(C)を取り外すことができます。5mm / 4mm の六角レンチを使用します。

- ⑤ 車軸ブラケットを希望の高さに移動し、元の様にボルトで固定します。

締付トルクは **8Nm** です。



- ⑥ ブレーキユニットを車軸ブラケットに装着します。この際、ブレーキユニットのナットとの間隔(d)と、②で取り外したスペーサーの幅を合わせます。



- ⑦ スペーサーのボルト(b)を軽く締め、ナット(a)を締め、ドラムブレーキユニットを取り付けます。締付トルクは **50Nm** です。

- ⑧ スペーサーのボルト(b)を締めます。

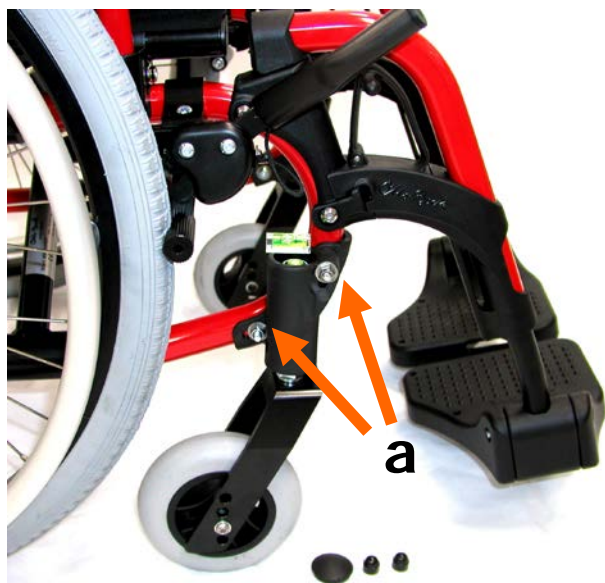
キャスター角調整

使用工具 六角レンチ（4mm）、スパナ（10mm）、水準器



前座高、後座高を調整したあとは、必ずキャスター角の調整を行ってください。

- ① キャスターブラケットのボルトカバーと、シャフトのカバーを取り外します。
- ② キャスターブラケット上部に、水準器を置きます。水準器内の気泡が、2本のラインの外側にあるときは、キャスター角がずれているので、調整が必要です。



- ③ 2本のボルト(a)を、10mmのスパナと4mmの六角レンチで緩めます。キャスターブラケットをフレームに沿ってずらすように動かすと、キャスターの角度が調整できます。
- ④ 水準器内の気泡が2本のラインの中に入ったら、ボルト(a)を締めなおしてください。

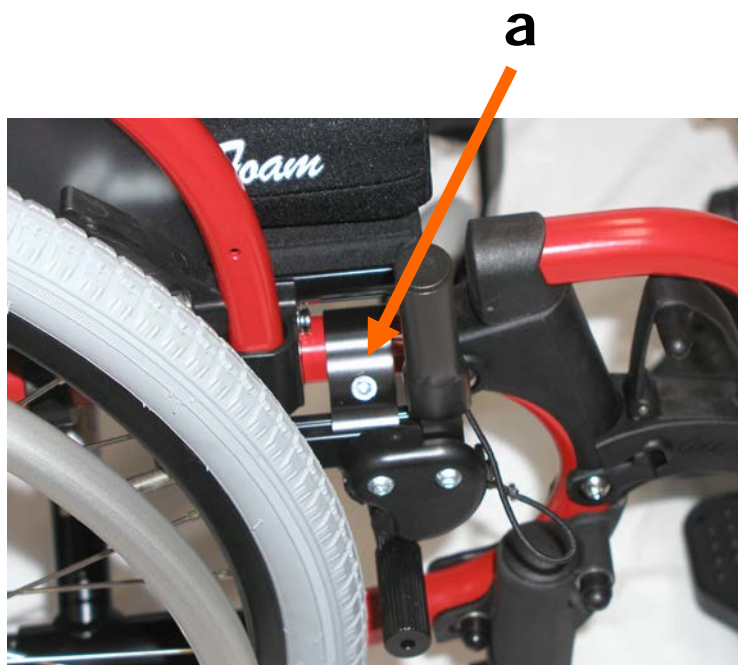
締付トルクは **8Nm** です。



- ※ この調整は、平らな床面で行ってください。
- ※ この調整を行う前に、タイヤの空気圧を確認してください。M シリーズ標準タイヤの空気圧は 4.5 気圧です。

ブレーキ位置調整

使用工具 六角レンチ (5mm)



車軸位置調整を行った後は、必ずブレーキ位置を調整してください。

① 5mm の六角レンチでボルト(a)を緩めると、ブレーキの位置を前後に調整することができます。

② ブレーキパッドとタイヤとの間隔が、約 10 mm になるように位置を調整し、再度ボルト(a)を締めなおしてください。

締付トルクは **10Nm** です。



※ ブレーキ位置の調整を行う前に、タイヤの空気圧を必ずチェックしてください。
M シリーズの標準タイヤの空気圧は、**4.5 気圧**となっています。

※ PU タイヤ装着の場合は、長時間ブレーキをかけたまま、放置しないで下さい。ブレーキによりタイヤが変形し、走行に支障をきたす恐れがあります。

アームパッド取付 及び アームサポート高さ調整

使用工具 六角レンチ (4mm)

アームパッド取付

M4 キングスは、出荷時にはアームパッドが取り外された状態になっています。

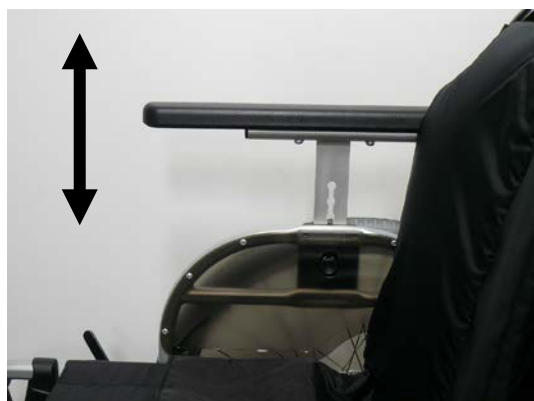
- ① 標準アームパッドは、2 本のボルト・ワッシャーを使用して、サイドパネルのパイプに取り付けることができます。
- ② アームパッド裏側には、5 箇所のボルト穴が空いています。このうち 2 箇所の穴（1 つおき）を使用して、パッド位置を前後に調整することができます。
- ③ アームパッドは、左写真のように内側・外側を確認して取り付けてください。

アームパッド高さ調整

- ① サイドパネル内側に、ロック用ボタンがあります。ボタンを押すと、アームパッドの高さを調整することができます。
- ② 調整が終了したら、ボタンから手を離し、アームパッドを上下に動かし、上下位置がロックされていることを確認してください。



車いす
外側



転倒防止装置

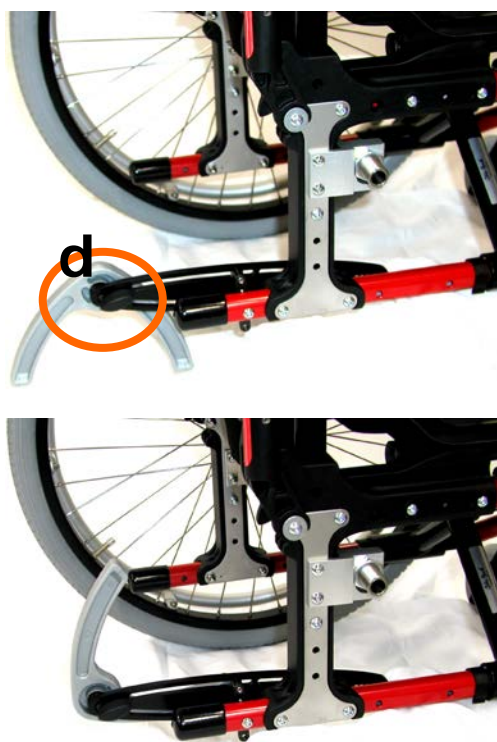
使用工具 六角レンチ（4mm）、スパナ（10mm）



車軸位置調整を行った後は、転倒防止装置のポジションを調整してください。

- ① ボルト(a)で転倒防止装置の高さ（傾き）を調整することができます。4mmの六角レンチで、ボルト(a)を緩め、ガイドパーツ(c)から抜き取ってください。
- ② ガイドパーツ(c)には6個の穴が開いています。希望の位置でボルト(a)を締めなおしてください。
- ③ ボルト(b)で転倒防止装置の前後位置を調整することができます。4mmの六角レンチと10mmのスパナでボルト(b)を抜き取ってください。
- ④ 希望の位置で再度ボルト(b)を締めなおしてください。必要に応じて、ボルト(a)の位置も調整してください。

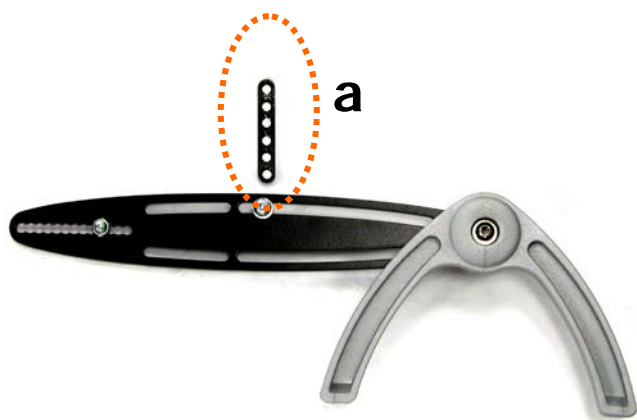
※ 調整が終了したら、転倒防止装置が有効に作動するか、必ず確認してください。



転倒防止装置の収納について

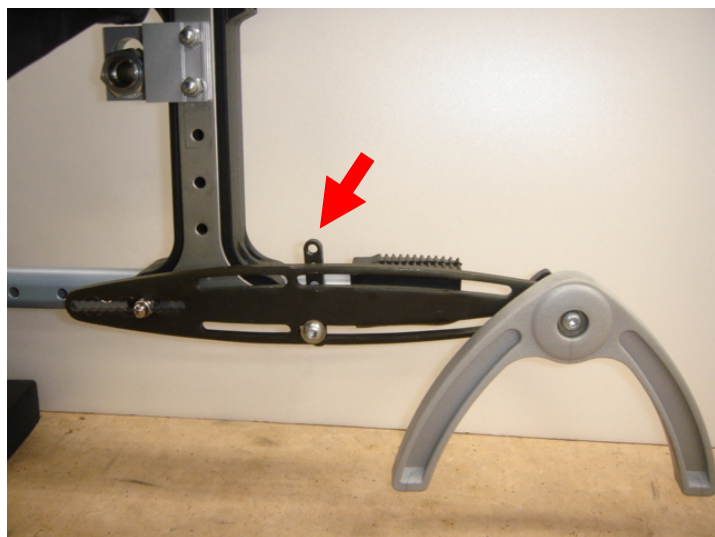
- ① dのボルト（手で操作できます）を緩めると、転倒防止装置を上方に回転させることができます。
- ② 再度dのボルトを締めると、転倒防止装置は上方でストップします。

転倒防止装置と座奥行き



転倒防止装置は、座奥行調整の際に、取外し、または移動する必要があります。

また、座奥行によって、パーツの取り付け位置を変更する必要があります。



① 座奥行が最長でないとき・・・

高さ調整のパーツ "a" は、後側に取付けます。



② 座奥行が最長のとき・・・

高さ調整のパーツ "a" は、前側に取付けます。

